



たいふう なに
台風は何でできているの

くうき うず あまくも
空気のうずと雨雲からできている

たいふうは、くうきの大きいうずまきです。そして、このうずまきのまわりに、あつあまくもあつあつ集まっています。

うずまきの直径は、ちよっけい小さいもので200キロメートルぐらい、大きいものでは1000キロメートルにもなります。

たいふう め
台風の間

うずまきのちゆうしんちか中心に近づくと、ふううつよ風雨が強くなりますが、ちゆうしんちか中心付近ではふううよわ風雨が弱く、ときにはあおぞらみ青空が見えることがあります。これを、たいふうめ台風の間といいます。間の直径は、100キロメートルをこえるものはあまりなく、すうじゅう数十キロメートルぐらいです。

間のまわりには、おおあめふくも大雨を降らせる雲のかべがあり、間のちゆうしんむ中心に向かってひだりまわつよ左回りに、強い風をふきこみながら上にのぼっています。(監修・村山 貢司)

台風の断面図

